

平成 27 年度 文化庁日本語教育委託事業

外国人のニーズと振り返りを重視した
指導法を研修する講座

募 集 要 項

聖徳大学言語文化研究所

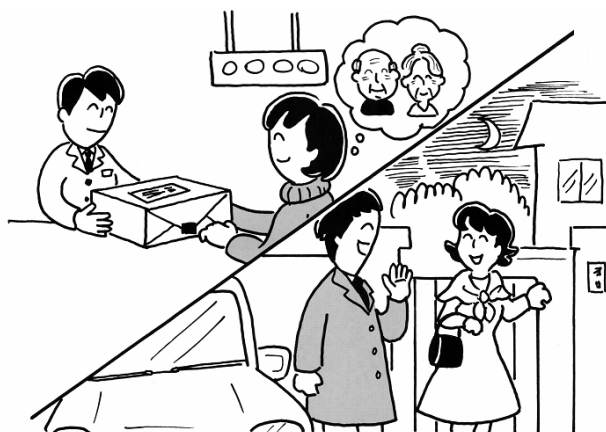
「何のための日本語学習なのかを再確認するために」

平成 27 年度文化庁日本語教育委託事業の取り組みの 1 つとして、聖徳大学言語文化研究所では「日本語教育を行う人材の養成・研修講座」を開催することといたしました。

今回の講座の主な目標は以下の 2 つです。

- 1 外国人の生活行動から探るニーズを正確に把握し、Can-do 型会話に反映する方法を研修する。
- 2 授業評価のあり方を「振り返りシート」の活用から指導者・学習者、双方の立場からおこなう方法を研修する。

「文型の表面的意味を説明するだけの指導」を実践的な Can-do 型の実践的な日常会話とするため、これまで文の「機能」の問題について多くの検討を重ねてきましたが、今回は、この「機能」を場面との関係と密接に結び付け、より有効性のある会話のモチベーションとすることを研修します。



これまでの本学の文化庁委託事業ではこうした研究を積み重ねてきたところですが、改良された Can-do 型会話例文の内容一覧を反省的に眺めると、指導者の生活観から抜け出せていない面もあり、外国人の立場に立ってその有効性を考えるところに至っていない点も散見されます。また、その会話例文を単に丸暗記して覚え込ませる、というだけの手法にも陥りやすい点も注意しなくてはなりません。本講座では、こうした事情を踏まえ、本当の外国人のニーズに沿った Can-do 型授業活動ができる指導手順を研修します。

講座を「実習・参加型」の形態として、単なる“座学”ではなく、具体的な教室活動として教授法や指導手順を実践的に学びます。

地域日本語教育について、前向きな問題意識をお持ちになっていらっしゃる方々の積極的な参加をお待ちしております。

記

【期間】 平成 27 年 5 月 30 日(土) ～8 月 1 日(土)

毎週土曜日 13 時 30 分～16 時 30 分 (全 10 回)

【場所】 聖徳大学 10 号館 5F 教室（千葉県松戸市） 松戸駅東口より徒歩 1 分

【研修目標と内容】 詳しい講座内容は、採択された方に後日郵送いたします。

構文指導用の教科書に縛られることなく、在住外国人に日本語を教える目的・意義を自覚しながら、外国人の生活行動を実現する会話力(Can-do 型会話)と評価法を重視した日本語会話の指導法を研修します。

【担当予定講師】

北村 弘明(聖徳大学言語文化研究所教授)

嶋田 和子(アクラス日本語教育研究所代表理事)

加藤早苗(インターカルト日本語学校校長) ほか

※都合により講師の変更がある場合もあります。

【募集人員】 45 名（申し込み多数の場合には、書類選考をおこなうこともあります）

【応募資格】 地域でのボランティア日本語教育に 2 年以上従事している方。また、これまで日本語指導をしてきた経験を踏まえ、外国人の生活行動を支える日本語指導法に関心のある方。

【参加費】 無料（ただし、初回に配付物印刷実費を 3,000 円お支払い下さい）

【応募方法】 封筒に別紙の申込用紙（必要事項記入）と 返信用封筒（後日、受講の可否を折り返し通知するもの。82 円切手を添付し、受取人住所氏名を明記）を入れ、下記宛にお申し込みください。

（宛先）〒271-8555

千葉県松戸市岩瀬 550 聖徳大学 知財戦略課 日本語教育研修講座係

（※切）平成 27 年 5 月 20 日（水）当日消印有効

（お問い合わせ）聖徳大学 知財戦略課 TEL 047（365）1111（大代表）

メールアドレス chizai@seitoku.ac.jp

※お送りいただいた申込書等は、受講の可否を問わず、ご返却いたしません。

個人情報につきましては、本目的以外に使用することはありません。

また、書類に不備のある場合は、受講不可となる場合もありますのでご注意ください。

5 月 26 日(火)頃までに、受講の可否を折り返し通知いたします。

申込書・スケジュール予定表はこちらからダウンロードできます↓

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

※受講採択された方には、後日、詳しいご案内をお送りします。